

遺伝子解析

高校生対象
受講料
無料

PCR（ポリメラーゼ連鎖反応）はDNAを扱う技術の一つであり、新型コロナウイルスの診断をはじめとする医療現場や犯罪捜査など様々な場面で利用されています。本実験講座では、参加者が自らの細胞からDNAを抽出し、PCRを利用して2型アルデヒド脱水素酵素遺伝子のタイプを調べる実験を行います。

日時

8 / 6（木）11:00～18:00

・昼休憩12:00～13:00

（実験の進捗により前後することがあります。）

・食堂・売店もご利用いただけます。

場所

県立広島大学庄原キャンパス5111実験室

対象

遺伝子の働きやその解析方法に興味のある
高校生、高等学校で生物学を担当する教員

※定員は15名です。先着順にて締め切ります。

※申込締切：令和8年7月23日（木）

お申込み・お問い合わせ

右のQRコードまたはURLの内容を確認し、
〔申込フォーム〕に入力してください。

または、「参加申込書」に必要事項を記入してFAXで
お申し込みください。

<https://forms.office.com/r/91XBATNwH9>



DNAの抽出とPCR実験

講師：生命環境学科 助教 松崎 秀紀



2型アルデヒド脱水素酵素はお酒に含まれるアルコールの代謝過程で働く酵素です。日本人では遺伝子のタイプによりこの酵素の働きが強い人と弱い人がいます。この講座では参加者が自分の毛髪などからDNAを抽出し、PCRを用いて2型アルデヒド脱水素酵素の遺伝子のタイプを調べます。

※可能な限り、白衣をご持参ください。

※実験ではご自身の遺伝子を解析します。



参加者には申込後に説明資料を配布しますので自分の細胞を使うかどうかを保護者の方と相談しておいてください。当日、講師の説明を聞いた後に、自分の細胞を使うかどうかを決めて同意書に署名していただいてから実験を開始します。自分の細胞を使いたくない参加者には代わりの試料を用意します。

-----✂切り取り線✂-----

参加申込書

氏名（ふりがな）（ ）

学年

学校名

住所 〒

電話 （ ） —

日中の連絡先：

E-mail